

会 派 活 動 報 告 書

令和2年4月24日

岡谷市議会議長

渡 辺 太 郎 殿

会 派 名 誠 風

代表者名 中 島 保 明

令和元年度における岡谷市議会 会派「誠風」の活動について、下記のとおり報告いたします。

活 動 項 目	活 動 内 容 及 び 活 動 の 実 績 と 効 果
I. 調査研究 (1/5)	<p data-bbox="368 714 1299 748">1. 第1回会派視察（先進地視察）：令和元年10月3日（木）・4日（金）</p> <p data-bbox="368 763 1225 797">①多摩全生園（東京都東村山市）国立ハンセン病資料館について</p> <p data-bbox="400 813 679 846">(1)研修での特記事項</p> <p data-bbox="427 862 1342 987">この資料館はハンセン病の歴史と理解を深めるため、またハンセン病に対する正しい知識の普及啓発による偏見差別の解消及び患者、元患者の名誉回復を目的として設立されました。</p> <p data-bbox="400 1003 584 1037">(2)評価、感想</p> <p data-bbox="427 1052 1430 1227">昔ハンセン病は恐ろしい伝染病であると考えられ、家族から離され療養所に入れられる隔離政策がとられたため偏見や差別がありました。またハンセン病の人々には人権を奪われていました。1996年「らい予防法」が廃止されましたがその後も差別が続いています。</p> <p data-bbox="427 1243 1430 1464">現在も人種、年齢、障がいの有無、性別、家柄などによる偏見や差別があるように、自分達の心の中に自分達とは違う一面を持つ人々を差別する気持ちが入り込みます、そうした偏見や差別を解決していくためには相手の人権を尊重する気持ちを持つことが大切です、まずは正しい理解、そして何をしていくかが大事だと改めて考えさせられました。</p> <div data-bbox="624 1541 1158 1839"></div> <p data-bbox="660 1865 1015 1899">国立ハンセン病資料館外観</p> <p data-bbox="1270 1962 1326 1995">以上</p>

I. 調査研究

(2/5)

②ゆいの森あらかわ（東京都荒川区）について

人口減少、少子高齢化時代の到来とともに、公共資産量の適正化と施設の在り方の研究を進め、今後、本当に必要とされる公共施設とはどのようなものか先進地の視察を行いました。

【視察内容】

荒川区の区役所にほぼ隣接する形で建設され、平成29年3月に「ゆいの森あらかわ」として誕生しました。この施設は中央図書館、吉村昭記念文学館、ゆいの森子どもひろばが一体となった、赤ちゃんから高齢者まですべての世代の方が利用できる、これまでにない新しい発想の魅力ある施設であり、館内の



構成は広場的な賑わい空間とサロン・書齋的な静寂空間の同居やグラデーショナルな階層構成によって、あらゆる人を受け入れ、全ての人



が思い思いに時間を過ごす事が出来る「街」の様な多様性を持つ豊かな空間を創出しています。また、一階にはカフェがあり本の持ち込みが自由な他、イベントホール

や遊びを通じ発育を促す遊具の設置、3万冊の絵本を所蔵し絵本の魅力を感じながらの子育て支援等、あらゆる仕掛けがあり施設の規模は異なるが、岡谷市にも同様の施設、または既存の施設を再利用することで人が集まり賑わいと時間を共有できるスペースが必要と考えます。

以上

③日本理化学工業（神奈川県川崎市）障がい者雇用の取組みについて

(1) 視察先での特記事項

- ・川崎と北海道に工場を持ち、社員85人で、学校で使うチョーク市場の国内シェア50%以上のトップメーカーです。それも85人のうち61人が知的障がい者で、うち半分以上がIQ40以下の重度の障がい者であります。
- ・作業工程を理解してもらうに苦勞したが、信号機をヒントに色分けをしたり、色々な方法を用いて、理解していただけるようになったそうです。

(2) 評価、感想

- ・現場を見させていただき、黙々と与えられた仕事をこなしている姿に感動をいたしました。いただいた資料の中に、日本理化学工業で障がい者雇用を始めた

I. 調査研究
(3/5)

ころ、社長がある法事の席で住職に「障がい者の皆さんは、施設でいた方が楽だと思うのに、毎日休まず会社に来るのです」と言ったところ、住職は「人間の究極の幸せは、『愛されること、ほめられること、役に立つこと、必要とされること』なのです。会社であればこそ『こんな雨の中来てくれて助かったよ』『昨日よりたくさん作ってくれてありがとう』などと言葉をかけられます。このことが人間としてうれしく、幸せだから毎日会社に来るのです。」と言われたそうです。私はこの言葉を大変に重く受け止めました。

- ・50人、60人もの障がい者を助けることができなくても、誰でも1人を助けることはできるのではないのでしょうか。我々一人一人のその積み重ねが重要だと思います。

(3) 岡谷市政に反映すべき点

- ・市としても、現在の中小企業の仕事内容と、障がい者雇用についてのマッチング調査を始めるべきと考えます。
- ・障がい者の賃金アップについて真剣に考えるべきであり、障害者優先調達の更なる充実に努めていただきたいと思います。
- ・障がい者は仕事ができないと決めつけず、できるように考えてやることも大きな仕事だと感じました。(行政、企業共通)

(4) 岡谷市政が取り組んだ場合の問題点など

- ・障害者優先調達はまさしく行政がしっかりと取り組むべき仕事であり、さらに企業とのマッチング調査まで手を広げることができるかどうかであり、問題点というよりやる気の問題だと考えます。



日本理化学工業本社内 チョーク製造工場内

以上

④白岡市（埼玉県）のりあい交通について

視察趣旨：白岡市が取り組む、乗り合い交通施策の視察を行いました。

(1) 視察での特記事項（質疑応答事項等）

Q 運転免許自主返納者への支援制度について利用者の反応、市民の声から課題をどう捉えているか？

A 利用者の反応は概ね良好と捕らえているが、如何に利用してもらうのか課題。

I. 調査研究
(4/5)

Q 乗り合い交通の課題は？

- A 1. 日・祝日の運行実施の検討
2. 隣接する久喜市との連携運行
3. 運行形態の見直し (2台 x 4人乗車で2日当たり40人が限度)

Q 2台運行で間に合うのか？

A 岡谷市同様に午前中の予約が多いが、白岡市では帰りの予約も出来る。

(2) 評価、感想

- ・JR 2 駅の交通網の確保と、市東部の路線バス空白地帯の解消という明確な事業の目的が示されていました。
- ・今後への課題についても、実証しながら合理的な運行計画の策定や、市民のニーズがどこにあるのかの検証もされ、利用登録による動向分析もなされていました。
- ・一番の特徴は、ゴミ集積場所で乗車が可能であり、その理由は自宅から近い場所との設定の意図が明確に示されていました。
- ・乗り合い交通の最適な運行のために、AI を活用していました。
- ・平成 27 年から開始していますが、常に課題への対応をアンケート分析や市民の声を反映させる計画に基き、その実績を積み上げていました。



白岡市庁舎隣接の図書館

以上

2. 第2回会派視察 (先進地視察) : 令和2年1月14日 (火) ~ 16日 (木)

①福岡県 宗像市 道の駅「むなかた」の取り組みについて

(1) 視察先での特記事項 (質疑応答事項等)

Q. 株式会社の形態であれば宗像市も株主として経営に参画していると思いますが、どの部局が担当されているのか、お伺いします。

A. 宗像市は副市長 (久芳昭文副市長) が経営に参画している。

経営への口出しがあり、やりにくい。

行政には年間2千万円の家賃、駐車場代を納入している。

(2) 評価、感想

- ・隠岐の島が世界遺産登録され、集客を望んだが、ブームに対し冷静な

I. 調査研究
(5/5)

判断をされていきました。(2～3年で客数減となること)

- ・豊富な魚種の漁場があり、来場者はそれを目当てに年間167万人に達します。
- ・道の駅に対し、管理、運営が徹底されていきました。

(3)岡谷市政に反映すべき点

- ・観光も含め、総合的な判断をしなければなりません。

(4)岡谷市政が取り組んだ場合の問題点など

- ・国道20号バイパスが延伸されれば、「道の駅」構想も議論されるであろうが、岡谷市が造成するとなれば、明確な戦略(道の駅とは、どういう位置付けなのか、来場者は何をしに道の駅を利用するのか、たとえば、トイレの利用であれば、また来たくなる様設備の充実など)を持たなければなりません。
- ・計画段階で「道の駅」の目玉が何か?を決めなければなりません。

以上

②佐賀県 武雄市 図書館指定管理者導入の取り組みについて

- (1)建設(リニューアル)の目的:いつでも利用でき(年中無休9時から21時)、居心地のいい(書店・カフェが融合、話せる学習室、BGM)、ライフスタイルも選択できる図書館を目指している
- (2)しくみ:建物は市が所有、図書館の運営は指定管理、営業区域は蔦屋書店とスターバックス。
- (3)感想:コンセプトが【市民の生活をより豊かにする図書館】です。【図書館が自己実現の手助けになる】との思いの基で、本により知識を高め、講座で研鑽を積み、イベントで仲間と教養を共有する“仕掛け”が良くできていると感じました。

以上

③福岡県 八女市 予約型タクシー・ふる里タクシーについて

- (1)設置目的:八女市は平成22年に近隣2町2村と合併しました(現在人口約63000人、面積約482km²)。合併による面積の増大に対処するため公共交通の見直しは合併の条件でもあり、当時からこの予約型乗り合いタクシーが採用されました。
- (2)しくみ:利用者は予約により、乗り合いタクシーで自宅と目的地を行き来することができます。
- (3)感想:利用者と乗合タクシーを繋ぐ役目の予約センターを見学しました。実際に電話対応を拝見しましたが、利用者の立場に立った素晴らしい対応で、このシステムが定着していることを実感できました。この他、八女市では運転免許証自主返納者に6万円相当分のタクシー利用券を配付する支援をしています。高齢者や交通弱者に優しい措置を講じている市の姿勢が伺えました。岡谷市は八女市と比較するとはるかにコンパクトですが、同じような課題は実在しています。八女市の考え方を参考にしたいと思いました。

以上

Ⅱ. 研 修
(1/4)

1. 初当選議員向け特別セミナー 議員20年の経験から語る基礎講座 in東京

受講者 : 田村 みどり

研修場所 : T K P 東京八重洲カンファレンスセンター

講師 : 宮本 正一 (医学博士/MBA)

(1) 研修での特記事項 (質疑応答事項等)

Q 初当選議員が失敗するポイントは

A ・「議員になったから」といって、自分を過信してはいけない。議員の仕事は決して一人ではできないものである。

議員は行政機関の監視役であるが、行政機関をまず理解することも大事であり、行政に対して、有効な意見を言うまでには、自己研鑽も必要であり、時間も掛かる。

議員本人の進んでいきたい方向と同じ方向性を持つ同志を見つけることは、議員活動を進める上で重要である。

議会のルール (条例や申し合わせ) に翻弄されてしまうこともあるかもしれないが、ルールには必ず法的根拠があるので、それが法、条例、規則のどの条項に依っているのか細かく確認することが必要である。

(2) 評価

・講師の宮本正一氏は、平成7年に27歳で市会議員 (大阪府寝屋川市) に初当選し、5期20年間の議員在任中に議長も経験されています。

長期にわたる議員活動から導き出された、行政機関 (市町村) の仕組み、議長と議員との違い、理事者との関係などについての講義には学ぶべき点が大いにありました。

・一般質問は、市町村の行財政全般にわたって、執行機関、理事者の政治的スタンスの確認をするためにもとても大切であること、また一般質問は単なる質問ではないことを学びました。

(3) 感想

・今回の研修で、初当選した議員として学ぶことが沢山ありました。議員は、市長を頂点とした行政の監視役であることを肝に銘じ、常に研鑽を積み自己を高めて、住民のために職務に取り組まなければならないと再認識しました。

以上

Ⅱ. 研 修
(2/4)

2. 町村議会議員研修 「1年目議員のために」

受講者 : 山崎 仁

研修場所 : 全国市町村国際文化研修所

日時 : 令和1年8月7日 (水) ~ 8月9日 (金) (3日間)

講師 : 小西敦先生・本橋謙治先生・中邨章先生

(1) 研修内容

・地方自治制度と地方議会について

- ・ 議会と議員について
- ・ 議員の身分と職責について
- ・ 議会活動について
- ・ 地方議会の活性化と議員の役割について

(2) 評価、感想

地方議員や議長は、その自治体の首長をも動かすこともできる権限をもっている事がわかり、地方議会は国会とは異なる地位ではありますが、地方においての行政とは大変重要な立場にあると感じました。

セクハラやパワハラなど、ハラスメントに対して議員の置かれている立場の責任の重さを改めて感じさせられました。

議会の運営については、岡谷市のように定例会・臨時会制が主流ですが、2012年地方自治法改正により通年議会制ができました。実施している市町村では、メリットは議会が活性化すること、デメリットとしては、緊急の招集など日程の準備に大きな負担がかかることがわかりました。

新人議員の意見交換では、議員になるきっかけは「実現したい政策がある」、「地元のコミュニティを良くしたい」という意見が多く出されました。課題や疑問においては「市民から議員の活動が見えにくいと感じる」、「議会での仕事と市民との関わりの仕事のバランスが難しい」などの意見が出されました。政務活動費の使い方について悩む議員も大勢居られ、私と一緒にのだと思いました。

以上

II. 研 修
(3/4)

3. 地方財政制度の基本と自治体財政

受講者 : 小松壮、早出一真、大塚秀樹、今井義信、田村みどり、中島保明(7名)

実施日時: 令和元年8月19日(月)～8月21日(水)(3日間)

主催・場所: 全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市)

講師 : (統括的立場) 関西学院大学大学院教授 小西 砂千夫氏

◎研修内容(抜粋・特記事項)

①地方財政制度の基本

地方自治体の歳入のうち大きな部分を占める地方交付税について、国の地方財政計画や基準財政需要額などとの関係を含めて解説がありました。また、地方財政の果たす役割についても、『我が国の内政を担っているのは地方公共団体であり、地方財政のウエートは国と地方の歳出の決算ベースでは4対6である』などの説明がありました。

感想: 国との関係における地方財政の説明が(地方議員にとって)良かったと思います。

②自治体財政診断の考え方と手法(講師: 今井太志氏)

・ 財政状況が良い、悪いとは?(住民サービスが良い、悪い・・・とは、別問題)

良い: 今後、住民サービス水準を維持・拡大しやすい

悪い: 今後、住民サービス水準を下げなければならない恐れがあり、

<p>II. 研 修 (4/4)</p>	<p style="text-align: center;">新規の投資も困難</p> <p>・他市町村との財政比較(グループ学習)</p> <p>総務省から出されている【H29 年度財政状況資料】のデータを使って縦軸に将来負担比率、横軸に基金額比率を取って、各市町村のデータをプロットすることにより、財政比較をする手法を学習しました。少なくとも当該年度における市町村間の比較、当該市町村の経時的なデータをプロットすればその自治体のここ数年の傾向が読み取れます。これは非常に参考になりました。(視察先の事前学習にも使えます)</p> <p>③財政健全化における川西市の取り組み(講師:川西市総合政策部長 松木茂弘氏)</p> <p style="text-align: right;">以上</p> <hr/> <p>4.自治体財政の見方～健全化判断比率を中心に～</p> <p>受講者 :早出一真、山崎仁、田村みどり(3名)</p> <p>実施日時:令和2年1月22(水)～1月23日(木)(2日間)</p> <p>主催・場所:全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市)</p> <p>講師 :稲沢克祐教授、小室将雄(有限責任監査法人トーマツ)</p> <p>◎研修内容(抜粋・特記事項)</p> <p>地方自治体の財政状況を分析することにより、岡谷市の財政状況を正しく理解し、予算・決算審査をより精度のあるものにするにより、財政健全化の理解を深める。</p> <p>2日間にわたり、財政指標の見方や議員の役割について、また他市の財政状況の分析など議員として学ぶべきことを掘り下げた形で研修がおこなわれました。特に2日目の研修では、各グループに分かれ実際にある自治体の財政指標を使い分析を行う中で、各指標の数値の出し方や出た数値をどう分析・判断することが正しいのかなど、ディスカッションを重ね様々な財政指標に対する考えを深めて参りました。今後、岡谷市も人口減少、少子高齢化の進行により義務的経費の増大は避けて通れません。厳しい財政状況の中で、歳入確保と効率的な予算配分を行う必要があることから、さらに財政健全化に向け研究していくことが求められます。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>III. 広報・広聴</p>	<p>会派 誠風 どこでも相談室</p> <p>開催日時 令和元年12月7日(土) 午後2時～5時</p> <p>① 開催場所 諏訪湖ハイツ 担当 早出一真 今井義信 田村みどり 中島保明</p> <p>② 開催場所 カルチャーセンター 3F 担当 小松壮 大塚秀樹 山崎仁 中島保明</p> <p>(1)目的:市民の皆様が気軽に立ち寄ることができ、議員と気楽な話もできる場を設けたいという思いで、この相談室を開設しました。</p>

<p>Ⅲ. 広報・広聴</p>	<p>(2)相談者からの依頼と対応：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地近くの側溝が大雨であふれるので、蓋付きで断面の大きい側溝に交換願う。⇒対応：当該区の出身議員が区の執行部に土木要望書に加えるよう依頼し、区側に了承して頂いた。 ・新たな防犯灯を区に依頼したが、予算がなく、できないとのことだった、なんとかできないか。⇒対応：行政から当該区長に話しをしてもらうように依頼すると回答 ・ララおかやの今後の活用方法は？⇒まだ決まっていないと回答 ・気功の講師をしている、見に来て欲しい。⇒参加すると回答 ・市債を心配している⇒市債の経営指数を出し、連絡すると回答 <p>(3)相談者の要望・感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般質問を初めて傍聴したが、区議会で出された課題についての質問がされていた。良い事であり今後に期待する。 ・子供たちがのびのび遊べる場所が欲しい（岡谷小の跡地活用） ・企業誘致により、人口増につなげて欲しい ・消防団員不足への対応として無理のない範囲で分団の統合を検討すべき ・「どこでも相談室」はすばらしい取組であり、是非継続してほしい ・行政も危機的な状況を確認し、街中を細部まで歩いて確認してほしい。 ・市外からの観光客、集客を官民一体となりPRして欲しい ・長野県（ACE）エース運動、健康についての一般質問が少ない。 <p>(4) 今後について：</p> <p style="padding-left: 40px;">来てくださった相談者のお言葉にもありますが、会派としても、継続してそれもできれば、定期的に決まった場所で開設したいと考えています。</p>
<p>Ⅳ. 要請・陳情</p>	<p>1. 令和2年度予算編成への要望書 予算編成前の令和元年10月9日に市長宛て提出しました。</p> <p>2. 会派から提出した意見書 県道下諏訪辰野線拡幅改良を求める意見書 （令和元年12月定例会にて原案可決 県へ提出）</p>

【活動実績】

※会派活動報告書は年度ごとにまとめ、年度当該年度の収支報告書の提出に合わせ議長に提出するものとする。

※議長は、提出された会派活動報告書を収支報告書と同様に公開するものとする。